

会議録（要旨）

日 時：令和5年11月30日（木）11時00分～12時00分

場 所：四万十町役場東庁舎2階 町民活動支援室

出席委員：図書館協議会委員/竹村君子、刈谷明子、小橋匠、金子仁、武内文治
美術館審議会委員/中屋定子、杉浦妙子、奥野克仁（リモート）

出席者：中尾町長、山脇教育長、浜田教育次長

文化的施設整備推進室：大元政策監、西尾次長

事務局：味元課長（生涯学習課）、中村副館長（生涯学習課）、大河原館長、富永主査（生涯学習課）、長木（図書館）、山地（図書館）、武内（美術館）

【議事次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告・協議事項
 - (1) 図書館協議会・美術館運営審議会「意見書」提出について
 - (2) 文化的施設整備推進事業について
 - (3) その他
4. その他
 - (1) 図書館・美術館臨時・年末年始休館
*12月22日～12月28日 図書館情報システム入れ替えに伴う臨時休館
12月29日～1月4日 年末年始」休館
開館1月5日（図書館新システム稼働）
 - (2) その他
5. 閉会

【会議要旨】

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告・協議事項
 - (1) 図書館協議会・美術館運営審議会「意見書」提出について
 - (2) 文化的施設整備推進事業について資料：資料1 公表用「文化的施設整備の今後の対応について」
資料2 「四万十町 HP・LINE」
資料3 「文化的施設整備事業に対する「意見書」等一覧」

(中屋町長) (大河原館長) (大元政策監)

文化的施設整備事業の経過、今後の対応について資料より説明、報告。

【質疑応答】

(竹村委員)

文化的施設の建設が中止になり残念でたまらない。休日には緑林公園で、小さい子どもを連れて世帯が遊ばれている姿が多く見られる。緑林公園は、町政で人の動きが変化し、さらに日曜日には「森のピアノ」を目当てに町外からも人が訪れている。そのように人が集まってきている。新しい文化的施設があつた場所にもし出来て岩本寺などと連携をし、小さいお子さんからお年寄りまでの動きを想像すると、四万十町の将来が楽しくなる。そういう未来を想像すると簡単にもう無理だと諦めてよいのか。頑張っていたきたい。なんとか方法はないのか。

(中屋町長)

このように現段階での計画が中止せざるを得ないが、かすかな希望があれば頑張りたいと思っている。今後の展開で皆さんの思いを議員に伝えていただきたい。

(刈谷委員)

本当に残念である。議会もできるだけ傍聴した。町としてはなすすべがないということもよく分かる。町民の代表である議員さん達は、これまで関わってきた人たちの思いや実質的に行われてきたこれまでのプロセスが分かっているはずで、それを踏まえての議決があつたようになり理解できない。完成図も見ているため受け止めることが難しい。

(中屋町長)

本来ならこのような結果にならないのに、不合理・不条理なことが起こっている。12月4日には、9団体の皆様に意見をしっかりと届けていただきたい。

(刈谷委員)

文化的施設の賛成の声を大きくしないと、なかつたことになる。恩恵を受けられる権利を、声を大きく上げないと受けられないという四万十町の有り様が辛い。12月4日は参加したいと思っている。

(中屋町長)

議員さんにこの問題はいかに大きい問題かを改めて理解していただきたい。うやむやに終わるのは非常に残念である。

(金子委員)

図書館協議会、社会教育委員会で意見書も提出した。6年前から専門家も交えて候補地も決めてきた。反対の声もあつたが、建設されると思つていた。合併特例債(の使用)は無理としても、同じ様な施設を計画する必要がある。今の議員さんに届くか不安だが、四万十町の未来をどう考えているか意見を訴えていきたい。

(武内委員)

個人的には、議会側、執行部側がお互い硬直状態であつたように思う。合併特例債も使えない。12月4日は前向きな議論ができないのでは。

(中屋町長)

9月議会で文化的施設の中止が決まり非常に残念である。四万十町には、緑林公園のように町民が楽しめる施設は少ない。町の活性化には旧役場跡は良いと思う。現図書館・美術館は、バリアフリーではないので新しい施設が出来れば町民が楽しめる場所ができる。図書館・美術館も50年先

を見通して、古くて保存ができないこぢんまりとした図書館（美術館）ではなく、小さい子から大人まで集まれる、規模の大きなものと思う。

（杉浦委員）

まだ着工できるという希望を持っていたので落胆している。規模を小さくという意見が出されて驚いている。今回の建て替えで美術館と言えるものができると思っていたので残念である。新しい美術館では、学芸員の雇用、温度管理をしっかりと、質の良い文化作品を子どもたちに見せたかった。今の規模は最小限なので、これ以上規模を小さくすることなく建ててもらいたい。

（奥野委員）

合併特例債が使えなくなってしまったので、図書館を作るにはまた別の財源の確保が必要であると聞いている。まずはしっかりした構想・空間を作り、良い図書館・美術館を作って欲しい。またこの度のこと一般の町民の方の声はどうか。

（大河原町館長）

町民さんの一般的な声として、残念である、期待していた、楽しみにしていたという声がよく聞こえるようになってきた。また7団体の意見では、予定通り建てていただきたいという声は変わらない。一方で全く関心のない層や、何が起ったのか把握されていない方も多いかと思っている。

（中屋町長）

これまで住民の皆さん方の意見が直接、議会の議委員に届いたことはない。住民投票の意見は上がったが、議会の中で民意を組んで議論をして当たり前の結果が出ると思ったがそういう結果ではなかった。議員は、住民に規模の見直しのアンケートを取ったそうです。それを踏まえて、12月4日の意見交換会では皆さんの思いを届けて議会を動かしていただきたい。落胆させて申し訳ないが現計画でなんとか行いたいと思っている。

その他

（大河原町館長）

12月4日議会報告会は（四万十町）ケーブルテレビで生放送を行う。議会議員に宛てたアンケートも近日中に集計し共有する。

4. その他

（1）図書館・美術館臨時・年末年始休館

（大河原館長）

図書館システムの入れ替えにより12月22日より（図書館・美術館は）休館する。1月5日より新しいシステムになる。

（2）その他

（竹村委員）

12月4日の流れを簡単に教えていただきたい。

（大河原館長）

各議員から3分程度で発言がある。意見団体は3分以内で質問をして質疑を行ったあと、一般参加者からの意見を聞く。2時間の予定である。

5. 閉会